

「メディアの役割と スピンコントロール」

「スピンコントロール」ちょっと聞きなれない言葉ですが、世論誘導・情報操作などのことをいいます。不祥事や自分たちに不利なニュースが出た際に大衆の関心をそらす手法です。SNS 時代を迎え、私たちはスピン報道への対応をどのようにすればよいか考えてみましょう。



武蔵大学名誉教授 永田浩三氏

1954年大阪生まれ。1977年NHK入局。

1983年『おじいちゃんハーモニカを吹いて』で芸術祭賞・放送文化基金賞。ディレクターとして、『ぐるっと北海道3万キロ』（アジア太平洋放送連合賞）、プロデューサーとして、「クローズアップ現代」「NHKスペシャル」等を制作。ギャラクシー賞・農業ジャーナリスト賞など多数受賞。

母は、広島原爆投下の爆心地から800メートルの場所で被爆。被爆2世として、東京都立第5福竜丸展示館や、高木仁三郎の脱原発の活動に共鳴したため関連した番組も多い。

著書『ベン・シャーンを追いかけて』（大月書店）

『奄美の奇跡』（WAVE出版 2015年）

『原爆と俳句』（大月書店）他多数。

講 師：永田浩三氏

日 時：9月26日（土） 13：30～15：30

場 所：茅ヶ崎市民文化会館 4F 大会議室

先 着：82名 入場無料

主 催：茅ヶ崎の社会教育を考える会

問い合わせ・申し込み 0467-23-2586（丸山）

osamu-m@jcom.zaq.ne.jp